

## 2019年度 フロンティアセミナーを開催しました

2019年度は、臨床で初めて看護研究に取り組む看護師たちを対象とした研究初心者向けの内容のセミナー「チャレンジ！看護研究 ～はじめの一步～」を11月2日に開催し、95名の方々が受講しました。

セミナーは、講演Ⅰ、Ⅱの二部構成として、講演Ⅰは「日頃の疑問から研究テーマへ」と題して、本学教授太田喜久子先生に、日頃の臨床での疑問、関心事をどのようにして研究疑問、そして研究テーマへと発展させるのかを、実例を交えながらご講義をいただきました。

講演Ⅱでは本学名誉教授筒井真優美先生に「実践家の強みをいかすアクションリサーチ～人々とともに、人々のためにある研究方法～」をテーマとして、アクションリサーチについて、受講者との対話を交えながら丁寧にご講義をいただきました。

受講者からは「今日学んだことを持ち帰り、今後の臨床に場で活かしたい」「日々仕事をしている中で忘れていってしまう疑問をリサーチクエスチョンとして形にして取り組む決意ができた」「アクションリサーチについてあまり知らなかったが、臨床でアクションリサーチの手法を用いて研究してみたいと思った」などの感想が寄せられ、臨床での看護研究について考え、取り組んでみたいという意欲をかき立てるセミナーになりました。



〈太田喜久子先生の講義の様子〉



〈筒井真優美先生の講義の様子〉